

平成26年11月2日

乗務中に車掌が居眠りをした事象について

お客様の安全を最優先に取り組みを進めている中、車掌が乗務中に居眠りをしてドアを開けるのが遅れた事象が発生しました。

これまで、乗務員の添乗指導強化、個々人の休養管理の指導に努めてきましたが、このような事象を発生させてしまい、ご利用のお客様にご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

1. 発生日時 平成26年11月1日（土） 20時19分頃
2. 発生区間 千歳線 北広島駅～上野幌駅間
(住所 北広島駅：北広島市中央6丁目10番地
上野幌駅：札幌市厚別区厚別町上野幌686番地16)
3. 列車 千歳 19時43分発 小樽行き普通列車(3両編成)

4. 概況

千歳発小樽行き普通列車の車掌が、北広島駅発車後に最後部運転室の運転席に着席後、眠気により居眠りをし、上野幌駅到着後にドアが開かないことから運転士が車掌に連絡したところ、車掌が気づき、ドアの開閉及びお客様の乗降の確認を行い、発車が約1分遅れました。なお、車掌はこの事象を指令センターに報告しております。

また、乗車されていたお客様は約20名（定員435名）で、この事象によりケガをされたお客様はいらっしゃいませんでした。

5. 今後の対応

全乗務員に対し執務態度の重要性について改めて教育を行い、あわせて休養管理の大切さを意識させ、同様な事象を発生させることがないよう指導を徹底して参ります。